

編入学・転入学後の単位認定

■単位認定について

- ・2回生編入学・転入学では30単位まで、3回生編入学・転入学では62単位を上限として本学入学時に単位認定を受けることができます。本単位認定は、提出された高等教育機関の成績証明書とシラバスに基づいて、決定します。
- ・合格者には、入学手続に関する書類とともに認定予定の単位数を通知します。事前に認定予定の単位数をお知らせすることはできません。
- ・出願時に履修中の科目がある場合は、単位修得後入学前までに必ず当該科目の成績証明書を提出してください。最終の成績証明書の提出がない場合は、通知した認定予定の単位数が変わる可能性があります。なお、本学を卒業するためには、124単位に相当する科目数を修得しなければなりません。

■専門教育科目の単位認定について(3回生編入学・転入学のみ)

- ・専門科目単位認定申請書と成績証明書、認定を希望する科目のシラバスを提出してください。(詳細はP.37を参照)
- ・シラバス(講義概要)とは、各科目の到達目標や学生の学修内容を記載したもので、通常、科目名・科目概要・評価基準・授業の到達目標・授業時間・授業回数・使用するテキスト等が記載されています。これらの情報がシラバスに記載されていない場合は、それらが分かる資料を別途提出してください。
- ・英語または日本語以外で作成されたシラバスについては、英語または日本語の翻訳をシラバスに添付する必要があります。翻訳資料は、シラバスの発行機関か翻訳会社、または資格を持つ翻訳者による翻訳のみ認めます。翻訳機関の公印または翻訳者の氏名・住所・連絡先・署名(または捺印)が明記されているかも、提出前にあわせて確認してください。
- ・AACSB・EQUIS・AMBA・EPASのうちいずれかの認証校から国際経営学部(APM)編入学・転入学を希望する場合はシラバスの提出は不要です。代わりに所属学部がいずれかに認証されていることが分かる資料(所属機関ホームページの該当部分のコピー等で可)を提出してください。
- ・単位認定を依頼するにあたっては、本学の専門教育科目の一覧を受験生サイトAPUmateの編入学・転入学のページ(https://www.apumate.net/admissions_guide/examination/h_t/)より参照してください。

■3回生編入学・転入学にあたっての注意点

本学への入学前に高等教育機関で2年間の学修を修めていても、日本の教育システムならびに就職活動の関係で、2回生編入学・転入学のほう望ましい場合があります。以下の点について理解した上で、入学後の学修や就職活動の計画についてよく検討してから出願してください。

3回生編入・転入生の場合、入学後の適切な学修計画、専門教育科目として最低10単位の単位認定を受けることが望ましいと考えられています。ただし、単位認定をされた場合も、課外活動やアルバイト、就職活動、その他の活動等に一定の時間を費やすと、卒業に必要な単位数を2年以内に修得することが困難になる場合があります。

一般的に、就職活動は3回生の後半から4回生まで続くこともあります。特に日本で就職活動をする場合は、一定の時間が必要となるため、2年間で卒業できるよう授業を履修し、単位を修得することが困難になる場合があります。以上の点から、日本での就職を希望する場合は、2回生編入学・転入学を強く推奨しています。

また、3回生編入学・転入学の場合、日本語または英語科目は必修となりませんが、希望者は履修することができます。一方で、言語科目には一定の学修時間を要するため、専門教育科目と並行して履修し2年間で卒業することは非常に困難な場合が多くあります。そのため、日本語または英語科目を履修したい場合についても、2回生編入学・転入学を強く推奨しています。

単位認定の詳細は、受験生サイトAPUmateの編入学・転入学のページ

(https://www.apumate.net/admissions_guide/examination/h_t/)を確認してください。